

「福岡市環境基本計画（第四次）素案策定作業部会」報告

1 開催日時等

（１）開催日時

令和 7 年 3 月 26 日（水） 16：00～17：30

令和 7 年 4 月 18 日（金） 13：55～14：35

（２）開催場所

【3/26】TKP ガーデンシティ PREMIUM 天神スカイホール ウェストルーム

【4/18】TKP ガーデンシティ PREMIUM 天神スカイホール メインホール A

（３）議題

第四次計画の素案について

（４）出席者（出席者 8 名）

松山 倫也 委員（部会長） 猪野 猛 委員

菊水 之恵 委員 小出 秀雄 委員

萩島 理 委員 林 灯 委員

久留 百合子 委員（4/18 は欠席） 山内 勝也 委員

2 議題「第四次計画の骨子案について」

（１）事務局からの説明概要

福岡市環境基本計画（第四次）の策定スケジュール及び素案について説明を行った。

（２）審議内容

事務局の説明後、各委員より、素案について事務局への確認や意見があった。

議論を踏まえ、事務局と調整のうえ、環境審議会総会に報告することとした。

（３）主な意見と考え方等

【3月26日】（素案について）

意 見	意見に対する事務局の考え方等
国内の脱炭素化が順調に進んでいるとのトレンドを記載してもよいのでは。	ご指摘を踏まえ、国内における温室効果ガス排出量が順調な減少傾向にある（オントラック）ことがわかるよう修正している。
2050 年の福岡市を取り巻く社会情勢について、世界情勢だけでなく、もう少し福岡市の情勢を記載したほうがよい。	計画改定の背景となる外的環境の変化が福岡市に及ぼす影響可能性を記載している。福岡市の社会情勢の変化については、p. 17 にて将来推計人口等を示している。
市民の行動例について、節電・節水等、日常的なライフスタイルに絞って例示されているが、市民の行動としては大型耐久消費財の買い換え時にエネルギー効率の良い家電に買い換えるほうが、脱炭素へのインパクトが大きい。	ご指摘を踏まえ、省エネ家電への買い換えなどライフサイクル全体で脱炭素へのインパクトのある行動例へ修正、追加している。
宅配サービスを 1 回で受け取るメリットに記載の CO2 排出量が東京ドームの容積単位で表現されているが、福岡ドームの容積単位にしてはどうか。	ご指摘を踏まえ、福岡ドームの容積単位に修正している。
事業者の行動例にあるテレワークは、実施方法によってはエネルギー消費量削減に寄与していないとの指摘もある。	ご指摘を踏まえ、WEB 会議のみ例示している。

環境にやさしい働き方の例のクールビズ、ウォームビズについて、現在は年間を通してオフィスカジュアルという働き方が浸透してきている。	ご指摘を踏まえ、オフィスカジュアルとの表現に修正している。
第1節「カーボンニュートラルを実装したまちづくり」のビジョンのまちの記載中に、ZEB・ZEHが増加していることを示してはどうか。	ご指摘を踏まえ、建築物の脱炭素化が進んでいる旨の記載を追加している。
事業系ごみの減量・資源化の施策で、古紙回収のことが触れられていないため、追加してはどうか。	ご指摘を踏まえ、古紙回収の記載を追加している。
第3節の指標「絶滅危惧種等の確認種数」の説明書きを加える必要がある。 また、絶滅危惧種等に限らず、生きもの全体で示したほうがよい。	ご指摘を踏まえ、説明書きの注釈を追加している。 なお、同指標は例年実施している「自然環境調査」を基にしており、生きもの全体の個数は把握していないため、同指標を設定している。
「CO2」は「CO ₂ 」と記載するように。また、西暦と和暦の併記は統一したほうがいい。その他、誤字等について確認、修正を。	ご指摘を踏まえ、修正している。
ビジョンを先に示し、そのビジョンに向けて取組みが進んでいるかの1つの指標として、各指標を示すとの順に変えてはどうか。	ご指摘を踏まえ、指標とビジョンの記載順を変更している。
色のコントラストに配慮しより見やすくなるよう工夫を。また、コラムはコントラストが強く、目立ち過ぎている印象を受ける。	ご指摘を踏まえ、全体の色やコントラスト、コラムの色を修正している。

【令和7年4月18日】（素案修正案について）

意 見	意見に対する事務局の考え方等
生物多様性の指標がわかりにくく、絶滅危惧種を増やすことが目標と捉えられかねない。修正すべき。	ご指摘を踏まえ、修正している。
市民が取り組む行動例について、具体的でわかりやすい反面、5年後10年後見たときに状況が変わることが考えられるため、欄外に「2025年時点の試算」等と添えるべき。	ご指摘を踏まえ、欄外に注釈を追加している。
市民が取り組む行動例について、電気自動車の購入メリットについて、災害時に停電した場合、災害用電源としても使える等、別のメリットを記載してはどうか。	ご指摘を踏まえ、修正案を提示させていただいている。
資料編の用語集は、環境局ホームページにも掲載するとともに、計画にリンクを貼り、今後、ホームページ上で必要に応じて更新できるようにしてはどうか。	製本時にはホームページに用語集を掲載するとともに、計画にリンクを貼ることを検討する。
資料編の用語集は、全て英語表記を添えてもいいのではないかと。	一部の英単語等の用語について、英語表記を追記している。